

東京都における看護師向けの認知症対応力向上研修について

- 「認知症施策総合戦略（新オレンジプラン）」で規定された『看護職員認知症対応力向上研修』（１８時間）を、『東京都看護師認知症対応力向上研修』ではⅠ型研修（基礎知識編）、Ⅱ型研修（対応力向上編）、Ⅲ型研修（マネジメント編）に分割して実施。
- Ⅰ型研修は、病院勤務の一般看護師等、Ⅱ型研修は指導的役割の看護師、Ⅲ型研修は管理監督的立場の看護師を対象とし、Ⅰ型研修から順次ステップアップして受講するものとする。
- Ⅲ型研修までの受講により、自施設における看護職員への研修（認知症ケアの基本知識等）を企画・実施できるようにする（指導者養成研修としての位置づけ）。

東京都看護師認知症対応力向上研修の体系

研修対象者

東京都の看護師研修の概要

研修修了者の位置づけ

管理監督
的立場の
看護師

東京都看護師認知症対応力向上研修Ⅲ【マネジメント編】（28年度～）

<目的> 病院等の管理監督的立場にある看護師に対し、認知症に係るマネジメント等に係る研修を実施することにより、病院等の認知症対応力の向上を図る。
<内容> マネジメント（環境設定・情報管理等）の実践的な対応方法・教育技法 等
<時間> 7 時間（講義 3 時間、演習 4 時間）
<実施方法> 東京都の主催で実施

国の「看護職員認知症対応力向上研修」（新オレンジプラン事業）修了
→ 各医療機関において自施設における看護職員への研修を実施（指導者）

修了者

病院及び有床診療所に
勤務する
指導的役割の看護師
（病棟のリーダー等）

東京都看護師認知症対応力向上研修Ⅱ【対応力向上編】（28年度～）

<目的> 病院及び有床診療所に勤務する指導的役割にある看護師の認知症への対応力を向上させることにより、病院等における認知症の患者に対する適切なケアを確保する。
<内容> 認知症への対応力向上（アセスメント、看護方法、院内外連携 等）
<時間> 6. 5 時間（講義 3 時間、演習 3. 5 時間）
<実施方法> 地域拠点型認知症疾患医療センター（12か所）に委託して実施

東京都看護師認知症対応力向上研修Ⅰと併せて修了することで、認知症ケア加算 2 及び 3 の要件（主な施設基準の病棟職員の研修）を満たす

修了者

医療機関に勤務する看護師

東京都看護師認知症対応力向上研修Ⅰ【基礎知識編】（24年度～）

<目的> 医療機関（診療所を含む）に勤務する看護師に対し、認知症に係る研修を実施することにより、退院後の生活等も踏まえた適切な対応を行えるようにする。
<内容> 認知症及び認知症ケアに関する基礎知識、多職種協働 等
<時間> 4. 5 時間（講義 3 時間、演習 1. 5 時間）
<実施方法> 地域拠点型認知症疾患医療センター（12か所）に委託して実施

国の「病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修」修了